

事務事業名		両毛線整備促進期成同盟会参画事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)				
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					担当組織	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課			
	政策	2 住みやすい快適なまちづくり					担当係	公共交通係	担当課長名	菊地 昌之				
	施策	2 まちなかの活性化と公共交通網の整備					新規事業・継続事業		継続事業					
	基本事業	3 公共交通の利便性の向上					実施計画事業・一般事業		一般事業					
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					市単独事業・国県補助事業	市単独事業		
	1346	一般	2	1	23	両毛線整備促進期成同盟会参画事業					任意的事業・義務的事业	任意的事業		
							実施方法		直営					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S33年度～ 年度			根拠法令 条例等	両毛線整備促進期成同盟会規約					事業区分	事業分類	参画事業
							リーディングプロジェクト		該当なし			市長マニフェスト	該当なし	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)													
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)						平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)							
両毛線整備促進期成同盟会に会員として負担金を支出している。また、JR東日本高崎支社に対する同盟会の要望活動に参加し、JR両毛線の駅等の施設整備及びダイヤなどに関する要望を行い、及びJR両毛線の利用促進の啓発活動を行っている。						(市の活動) 両毛線整備促進期成同盟会に負担金の支出、年1回の要望活動、年6回の会議出席及び利用促進としてのJR両毛線時刻表の配布を行った。							
両毛線整備促進期成同盟会とは、JR両毛線沿線の市町及び商会議所・商工会と連携し、JR東日本高崎支社に対しJR両毛線の複線化及び施設整備等の促進に関する要望を行う団体である。						(両毛線整備促進期成同盟会の活動) 年1回の要望活動、年6回の会議開催及び利用促進としてのJR両毛線時刻表の作成							
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)						
会議・要望活動・啓発活動回数		回	6	5	8	8							
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)													
JR東日本高崎支社						対象指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
(参画対象団体) 両毛線整備促進期成同盟会						要望先		箇所	1	1	1	1	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)													
目的 JR両毛線の駅等の施設整備及びダイヤなどの利便性の向上に関する要望を取り入れて改善してもらう。						成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
						要望件数		件	28	21	24	25	
						鉄道利用者数		人	4,147,860	4,113,185	4,208,998	4,115,000	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)													
①市民が公共交通を快適に利用できる。 ②公共交通が利用者ニーズに応じ、充実したものになっている。						上位成果指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
						市内を運行するバスの利用者数		人	296,233	303,984	305,452	315,000	
						市内を運行するバスの路線数		路線	8	9	9	9	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	12	12	12	12				
	事業費計(A)	千円	12	12	12	12	0			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	12	負担金	12	負担金	12	負担金	12
人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1				
	のべ業務時間	時間	20	16	16	16				
	人件費計(B)	千円	78	63	62	62	0			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	90	75	74	74	0			

事務事業名	両毛線整備促進期成同盟会参画事業	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	担当係	公共交通係
-------	------------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和33年6月1日に、JR両毛線沿線の市町及び商工会議所・商工会により、両毛線の複線化及び施設整備等の促進を図ることを目的に両毛線整備促進期成同盟会が組織された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	JR両毛線佐野駅の乗車人数は、減少傾向にあったが、平成23年度から増加傾向になり、平成26年度を除き概ね増加している。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	なし

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	現状維持により対象外

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	JR両毛線の利用者の利便性の向上を目的とする事業であり、公共交通の利便性の向上に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	佐野市が両毛線整備促進期成同盟会の会員であるため、市が行わなければならない。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	JR東日本高崎支社に対しJR両毛線の駅等の施設整備及びダイヤなどの利便性の向上に関する要望を行うため、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がない	理由・改善案	JR両毛線の駅等の施設整備及びダイヤなどの利便性の向上に関する要望活動を実施しているが、継続案件や検討事項が多いため、成果向上の余地はない。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はあるが、統合・連携できない	理由・改善案	類似事務事業名 東武鉄道整備促進期成同盟会参画事業、東北新幹線小山駅停車増便促進期成同盟会参画事業 対象が異なるため、統合・連携はできない。 * 類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	事業費は負担金のみであり、また、この事業に係る業務所要時間は少ないため、事業費及び人件費の削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	JR両毛線の利用者の利便性の向上を図ることが目的であるため、受益者は不特定多数の市民であり、受益者は特定されず、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 要望事項がなくなった場合又は同盟会による活動が不要となった場合は、廃止することができる。			

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																						
現状維持(従来通り実施)		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。																							
* 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。)																									
		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		○	×	低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		○	×																					
	低下		×	×																					